

<p>科目名：小児看護学実習</p>	<p>必</p>	<p>2 単位</p>
<p>(Pediatric Nursing Clinical Practice)</p> <p>履修年次/時期：3 年次 通年 授業形態：実習</p> <p>担当教員：眞田英子（実務経験あり） 永谷晃子（実務経験あり）</p>		
<p>学修目的</p>	<p>子どもの健全な発達段階を理解したうえで、健康障害を持つ子どもと家族に必要な基礎的な知識・技術・態度を養い適切な看護が実践できる。また実習を通して小児看護の役割を理解する。</p> <p>DP3 および CP6 に関連する。 科目 No.KNp-305</p>	
<p>到達目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもとその家族への関心・意欲・態度がもてる。 2. 子どもとその家族への援助を行うための思考と判断ができる。 3. 子どもとその家族の回復過程を促進するための援助が実施できる。（技能・表現） 4. 子どもとその家族の看護に必要な知識をもち理解することができる。 5. 子どもの成長・発達の特徴を保育所での生活や養育環境を通して理解する。 	
<p>授業概要</p>	<p>健康障害をもつ子どもとその家族の健康回復・維持・増進のための看護を学習し、対象に必要な看護を提供する</p>	
<p>授業計画</p>	<p>（実習施設）</p> <p>国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院</p> <p>公益社団法人地域医療振興協会 横須賀市立うわまち病院</p> <p>聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院</p> <p>公立大学法人 横浜市立大学附属病院</p> <p>横須賀市立保育園</p> <p>社会福祉法人 聖テレジア会 鎌倉領域医療センター小さき花の園</p> <p>社会福祉法人 みなと舎 ライフゆう</p> <p>（実習方法）</p> <p>病院実習では、1 名を受け持ち、実習指導者または担当教員と共に看護実践する。小児看護学実習要項を参照</p> <p>（実習期間）</p> <p>2020 年 5 月上旬～10 月上旬</p> <p>病院 4 日間・保育園 3 日間・重症心身障害者施設 1 日間・学内 2 日間</p>	
<p>評価方法</p>	<p>ループリック評価表に基づいて点数化し、その合計点を最終評価とする。</p> <p>フィードバックは実習毎に提示する。</p>	
<p>教科書</p>	<p>系統看護学講座 小児看護学①② 医学書院</p> <p>新訂版 写真でわかる小児看護技術アドバンス 医学書院</p>	
<p>参考書</p>	<p>浅野みどり他：発達段階からみた小児看護過程＋病態関連図 医学書院</p> <p>江口正信・水口國雄：検査値早わかりガイド サイオ出版</p> <p>今日の治療薬 南江堂</p>	
<p>お問い合わせ 連絡先</p>	<p>眞田 毎週金曜日 16-17 時 永谷 毎週金曜日 16-17 時 ※この時間以外でも対応しますが、実習で不在のことがあるので、必ずアポイントメントをとってください。 直接研究室またはメールでお願いします。</p> <p>眞田英子（3号館3階研究室） sanada@kdu.ac.jp 永谷晃子（3号館3階研究室） a.nagatani@kdu.ac.jp</p>	